

5. 本時のねらい

分母のちがう分数の大きさを比べるには、分母の公倍数を見つけ、通分して（大きさを変えないで分母の等しい分数にして）から比べるとよいことを理解する。

《資料2》

6. 本時の展開 (4 / 14)

ねらい		学 習 活 動		教師の指導・支援及び留意点		
				(T1)	(T2)	(T3)
導 入	1. 既習内容を想起する。	1. 既習事項について復習をする。 大きさ比べ $\frac{1}{3}$ と $\frac{2}{3}$		・問題を板書する。		
	2. 問題の概要をつかむ。	2. ゆみとひろしの2人の水筒にはいる水の量を比べ、どちらが多くはいるかを考えよう (ゆみの水とう) (ひろしの水とう) $\frac{2}{3}$ リットル $\frac{3}{5}$ リットル		・問題の提示 ・具体物(水・砂)で問題の内容をとらえやすくする。		
展 開	3. 課題をつかむ。	3. 課題をノートに書く。 分母のちがう分数の大きさの比べ方を考えよう		・課題を板書する。	・巡回して、課題をノートに書いたことを見届ける	
	4. 異分母分数の大きさの比べ方を考える。	4. 大きさの比べ方を考え、ノートに書く。 <u>大きさの等しい分数をT3と共に作りながら考える。</u> $\frac{2}{3}$ と大きさが等しい分数 $\frac{3}{5}$ と大きさが等しい分数 $= \frac{4}{6} = \frac{6}{9} = \frac{8}{12} = \frac{10}{15} = \frac{6}{10} = \frac{9}{15}$ 分母が同じ場合を見つけて、大きさを比べる。 <u>分母をそろえる方法を考える。</u> $\frac{1}{2}$ と $\frac{2}{4}$ $\frac{1}{3}$ と $\frac{1}{5}$ $\frac{2}{3}$ と $\frac{3}{5}$ の場合は? <u>既習事項を生かして自分で考える。</u> $\frac{2}{3}$ と大きさが等しい分数 $\frac{3}{5}$ と大きさが等しい分数 $= \frac{4}{6} = \frac{6}{9} = \frac{8}{12} = \frac{10}{15} = \frac{6}{10} = \frac{9}{15}$ $\frac{10}{15} > \frac{9}{15}$ だから、 $\frac{2}{3} > \frac{3}{5}$		・ の児童を支援 ・ - 分子分母を2倍すれば同じになることに気づかせる。 ・ - 分母を公倍数にすれば比べやすいことに気づかせる。 以上のことから、分母の公倍数を求め、分母を公倍数にして比べるとよいことを理解させ、その方法で比べさせる。	・ の児童を支援 ・ 同分母分数の場合と何が違うかを考えさせ、異分母分数も分母をそろえればよいことに気づかせる。 ・ 既習の同じ大きさの分数を想起させ、分母が公倍数である場合を見つければよいことに気づかせる。 ・ 分かりやすく説明する方法を考えるよう助言する。	・ の児童を支援 ・ 大きさが等しい分数を順序よく書き出し、その中から大きさの等しい分母の場合をみつけて比べればよいことに気づかせる。
終 末	5. 比べ方についてまとめる。 「通分」の用語を知り、その意味を理解する。	5. 「それぞれ大きさの等しい分数をつくり、その中から分母が同じものを比べる。」 通分の意味をノートにまとめる。 「分母のちがう分数を、大きさを变えないで分母の等しい分数にすることを通分するという」		・ 分数の単位(分母)をそろえるとよいことをまとめる。 ・ 「通分」の意味を板書でまとめる。	・ 通分のまとめをノートを見て確かめる。	
	6. 類似問題を解く。 7. 本時のまとめをする。	6. 類似問題を解く。 7. 学習したことをまとめる。 「分母のちがう分数の大きさを比べるには、通分して分母の等しい分数にしてから比べる」		・ の児童に付く。 ・ 「通分」の用語を使って学習したことをまとめる。	・ の児童 ・ の児童 ・ 学習のまとめを見届ける。	・ の児童
	8. 練習問題を解く。 9. 次時の学習内容を知る。	8. 分数の大きさを比べる(プリントの問題を解く)。		・ の児童につく。 ・ 帯分数の場合は、分数部分だけを比べればよいことをおさえる。	・ の児童 ・ の児童	・ の児童

